

Q 2歳の息子がいます。夫と夫の両親が「盆正月は旦那の実家で過ごすもの」という意識が強く、毎年負担になっています。両親ともに実家が遠く、私の両親もめったに孫に会えません。なのに私の実家にはいつも日帰り。たまにはゆっくりしたいです。交通費もバカにならず、毎回帰りがたありません。

A 世の奥さま方は、夫の実家に帰れば、くつろげるどころか、嫁としての役目も果たさねばならず、大変ですよ。私たち家族には気づかない苦労があると思います。でも、年に2回しか帰っていないのなら、ご両親はその2回をさぞ楽しみにしておられることでしょうか。あなたには負担がもたせませんが、回数としては決して多くないので、盆と正月は夫の実家で過ごすものと、もう諦めた方がいいと思いますよ。

たとえ日帰りであれ、あなたの実家にも帰っているのですから、ご主人はおあいこだと思っています。ただ「日帰りだゆっくりできない」という奥様の気持ちの方が分かっていないので

夫の実家への帰省が負担



す。「決しておあいこではない」「日帰りでは私も私の両親も寂しい」と、ご自身の気持ちをそのまま伝えればいいと思います。

その際、注意していただきたいのは、決して文句や苦情のように言わないこと。保育士時代、保護者の方たちがよく園へ希望を言いに来られました。希望やお願いは、クレームの一種だということが分かりました。要するに、現状への不満を言いたいのです。

希望を伝えるときは、よほど気を付けないと、不満が口から出てしまいます。気持ちだけを素直に伝え、「相談」として話してみてください。ご主人の心はきっと動くはずですよ。

交通費に関しては、あなたの実家にゆっくり帰ることになっても、回数が同じならば今までと同じはずですよ。ご実家にゆっくり滞在することができたなら、その金額の値打ちはあると思うようになりますよ。あなたの相談で私も反省しました。これからは妻には実家でゆっくりしてもらおうと思います。

(こどもコンサルタント)